

空間は、
もっと人の力になれる。

中期経営計画 (2023年9月期～2027年9月期)

2022年12月9日



株式会社アスコット

©2022 ASCOT CORP. All rights reserved.

目次

1. 中期経営計画策定にあたって	3
2. アスコットが志すこと	4
3. 事業環境認識	5
4. 中期経営計画の骨子	6
5. ビジネスモデルについて	8
6. 定量目標	9
7. 重点施策	11
8. DXの推進	18
9. ESGの取り組み	19
10. 株主還元	20
Appendix	21

1. 中期経営計画策定にあたって



代表取締役会長
羅 怡文

代表取締役社長
中林 毅

当社は、1999年の創業より、2023年9月期で第25期を迎えました。四半世紀にわたり企画開発力を活かして、都心部にデザイン性の高いレジデンスを開発する不動産デベロッパーとしてのブランドと地位を確立してまいりました。

最近5年間においては、2017年と2020年の第三者割当増資によって財務力が大きく強化され、加えて、2022年のグループ会社戦略の見直しにより、自己資本比率と手元流動性が大きく向上いたしました。

今次の中期経営計画は、従来からのコアコンピタンス(強み)である企画開発力を基盤とし、強化された財務力を活かして、いかにして不透明な事業環境への対応をしつつ成長スピードを加速するかという二つの経営課題に的確に対応すべく策定しております。

まずは2023年9月期～2025年9月期の3か年を第1フェーズとして、事業面では、物流開発事業の立ち上げ、ファンドマネジメント事業の拡大、自己保有収益物件のポートフォリオ構築を主たるテーマとし、これらの実現を図る計画です。更に「金融」「国際」「DX」という3つのキーワードを掲げ、新たな資金調達手法の実現、アジア圏を中心とする海外顧客基盤の拡大、DXによる経営可視化などを促進してまいります。これらによって、「**成長基盤**」と「**環境変化に対する耐性**」の両面を強化してまいります。

2026年9月期から始まる第2フェーズにおいては、第1フェーズを準備期間として位置づけたB2Bの国際事業や不動産金融事業を本格的に展開することを計画しております。

両フェーズ通じて、ESGの観点から、環境に配慮した開発事業、ダイバーシティの推進、内部統制強化にも取り組んでまいります。

2. アスコットが志すこと

Purpose

存在意義

人と社会、環境との共生と調和を実現する

- 私たちは、不動産価値の創造を通じて、人と社会に豊かさを育みます。
- 私たちが不動産の価値創造に取り組むとき、常に環境との共生を念頭において思考し、行動します。
- 持続可能な世界を目指して、「人・社会・環境」の調和の実現に取り組みます。

Vision

ありたい姿

不動産価値創造のプロフェッショナル集団

- 不動産の隠れた価値を見抜き、社会の変化を捉えた独自の発想力で潜在的ニーズとつなぎ、新たな価値を創造します。
- 多彩な物件・サービスを最も適した手法で、幅広い顧客に届けるバリューチェーンを築きます。
- 個の力を集結し、「不動産の達人」としてのプロフェッショナル集団を目指します。

Credo

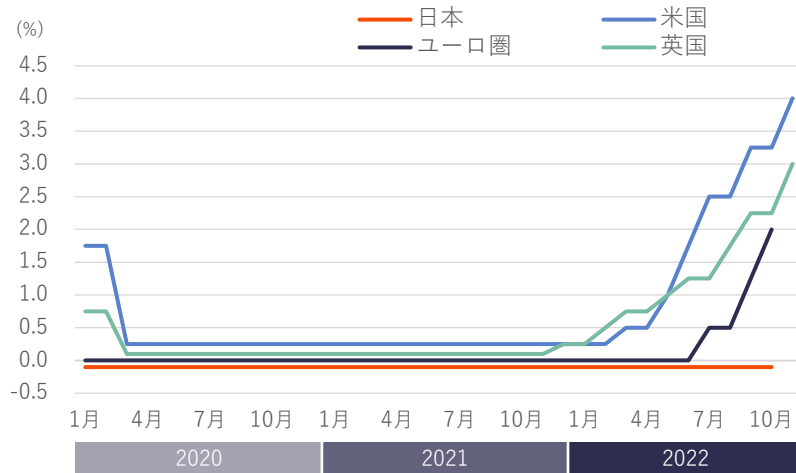
信念

空間は、もっと人の力になれる。

3. 事業環境認識

急速な円安と建築費高騰で先行き不透明感が増大

日米欧の政策金利推移



出典：各種データよりアスコット作成

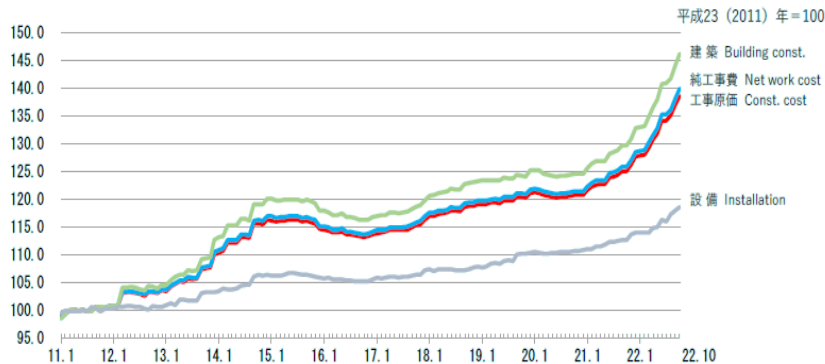
USD/JPY



出典：各種データよりアスコット作成

建設物価の推移

建物種類 2 集合住宅 (RC造)
No. 2 Condominium



出典：建設物価調査会 総合研究所「建設物価 建築費指数®【2022年10月分】」(2022年11月)

4. 中期経営計画の骨子

2つの経営課題

成長基盤強化



環境変化に対する耐性強化

3つの事業領域

既存事業

ファンドマネジメント事業

新規事業

7つの重点施策

1. 企画開発力の一層の強化
2. 自己保有資産の積み上げ
3. アセットタイプの拡充
4. 資金調達手法の多様化
5. ファンドAUM*残高の積み上げ
6. 国際事業（B2B）の展開
7. 不動産金融事業の展開

4. 中期経営計画の骨子

成長ロードマップ

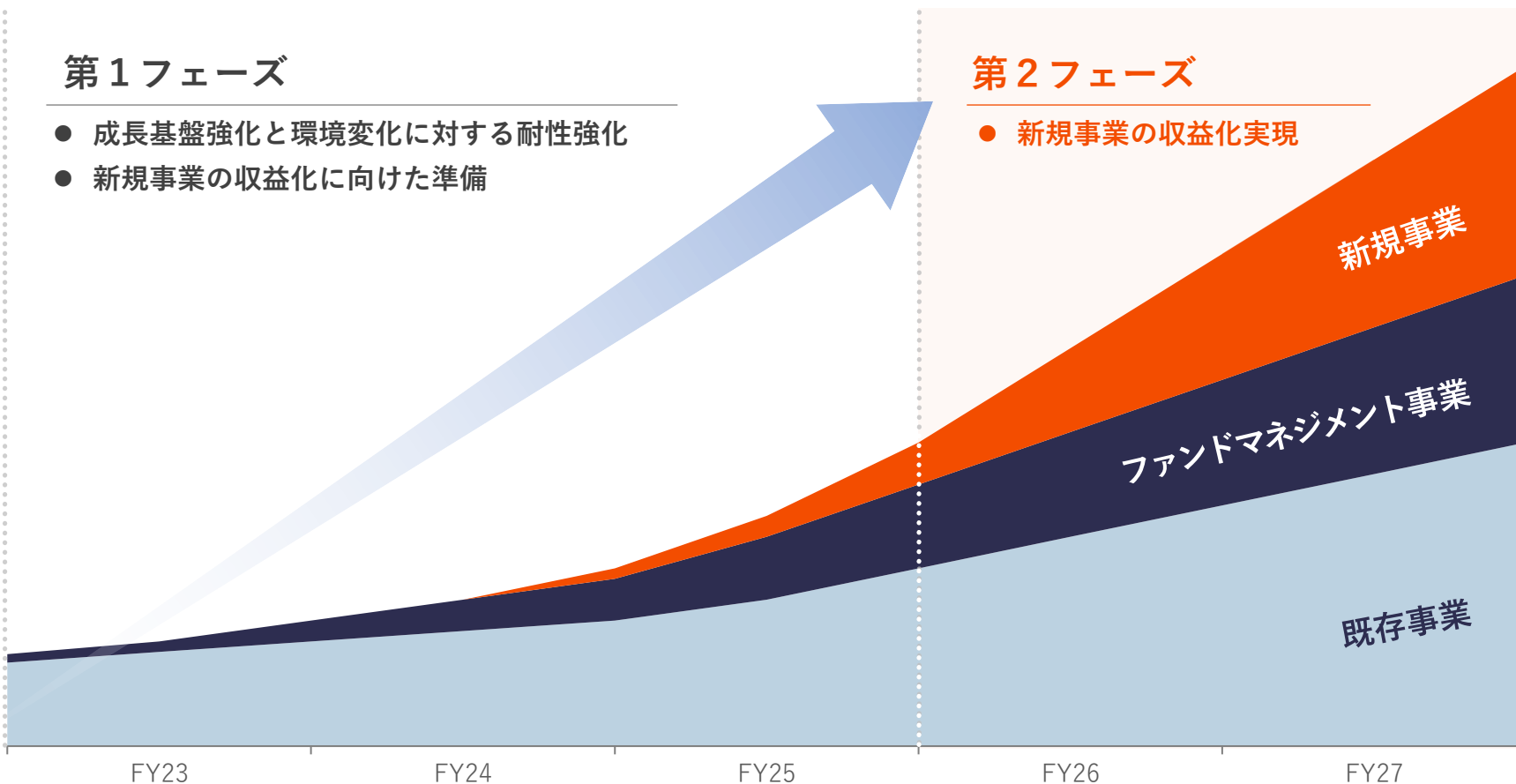
収益貢献イメージ

第1フェーズ

- 成長基盤強化と環境変化に対する耐性強化
- 新規事業の収益化に向けた準備

第2フェーズ

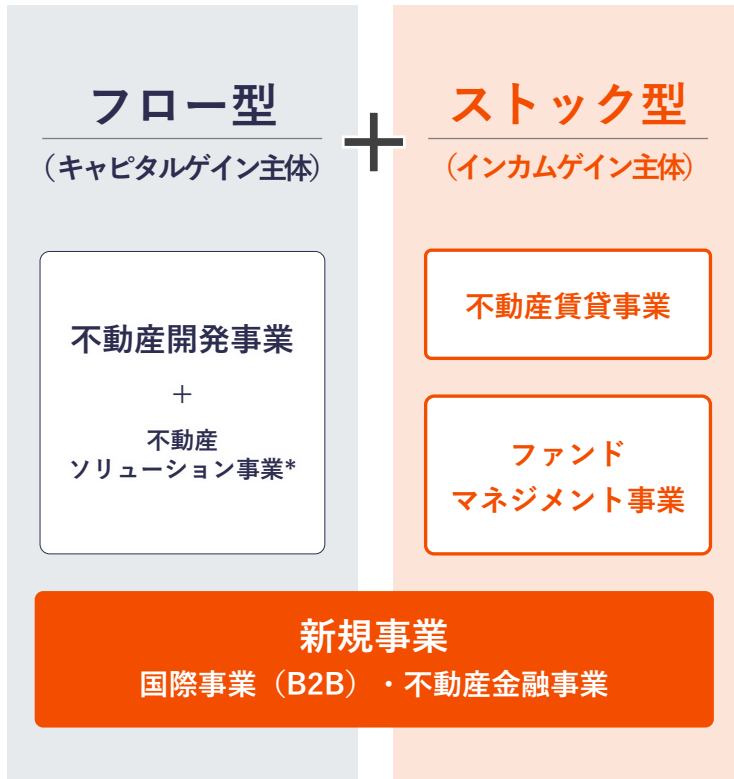
- 新規事業の収益化実現



5. ビジネスモデルについて

フロー型とストック型のバランスのとれた収益構造への転換

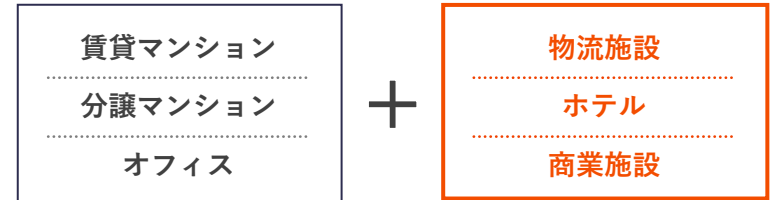
収益構造



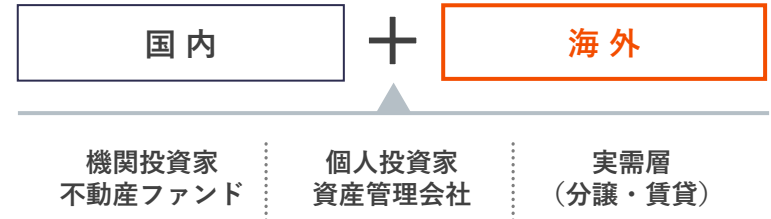
*バリューアップ (収益不動産)、不動産コンサルティング、仲介等

アセットタイプ

既存 (Existing) 新規 (New)



顧客



資金調達手法



6. 定量目標：主要経営指標（KPI）

第1フェーズ

※ 第2フェーズのKPIは第1フェーズの進捗状況をふまえて後日策定予定

	2022/9期 (連結/ THEグローバル社除く)		2025/9期 (連結)
売上高	202億円	➤➤ 2.2倍	450億円
プロジェクト営業利益*1 (対売上高比率：17.8%)	36億円	➤➤ 2.4倍	85億円 (対売上高比率：18.9%)
当期純利益 (対売上高比率：3.9%)	8億円	➤➤ 3.2倍	25億円 (対売上高比率：5.6%)
自己資本比率	51.8%		33.3%
ROE*2	3.2%		8.0%
ストック型収益/ 販管費*3	22.8%		70.0%

*1 売上総利益－プロジェクトに紐づく販管費（仲介手数料等）

*2 当期純利益/ 自己資本（期初および期末残高の単純平均）×100

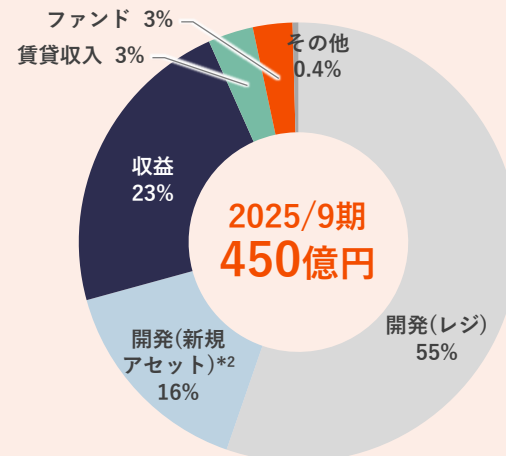
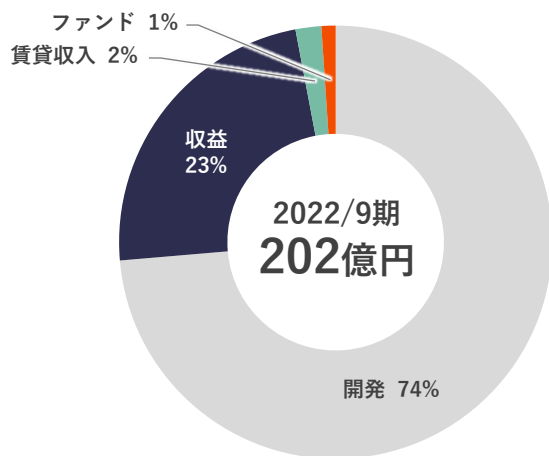
*3（不動産賃貸収支＋ファンドマネジメント事業プロジェクト営業利益）/ 販管費（プロジェクトに紐づく販管費を除く）×100

6. 定量目標：売上高とプロジェクト営業利益の内訳

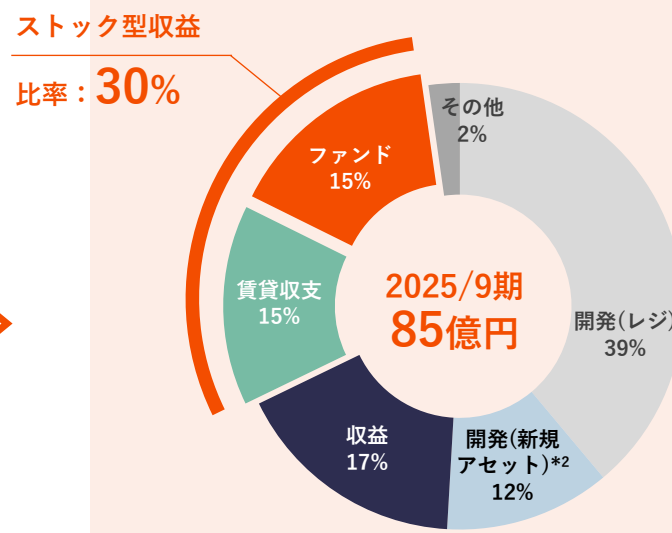
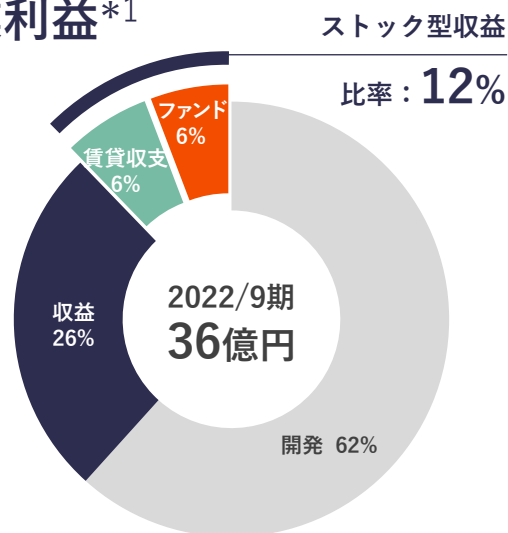
第1フェーズ

※ 第2フェーズのKPIは第1フェーズの進捗状況をふまえ後日策定予定

売上高



プロジェクト営業利益*1



*1 売上総利益-プロジェクトに紐づく販管費(仲介手数料等)

*2 物流施設等

7. 重点施策：企画開発力の一層の強化

アスコットの信念である「空間は、もっと人の力になれる。」は、不動産開発事業者としての出自を表現したもの。

ビジネスモデルの変化の中においても企画開発力は当社の最大の強みであり、今後一層の強化を図るものとする。

グッドデザイン賞

GOOD DESIGN AWARD 2022

- OZIO桜新町、ASTILE麻布十番の2プロジェクトが受賞
- 7年連続、通算16物件での受賞

サステナビリティ

- ノーマライゼーション*住戸の開発に着手
- ASTILE studio経堂で間伐材を使用した防音マンションを開発
- FARE御徒町でDBJ Green Building認証の申請中

知的財産権（意匠権）

- 意匠権の要件である新規性・創作非容易性をアピールすることで、自社の希少性を高め、差別化を打ち出す
- ASTILE目黒とASTILE広尾の2物件で出願中



*ノーマライゼーションとは

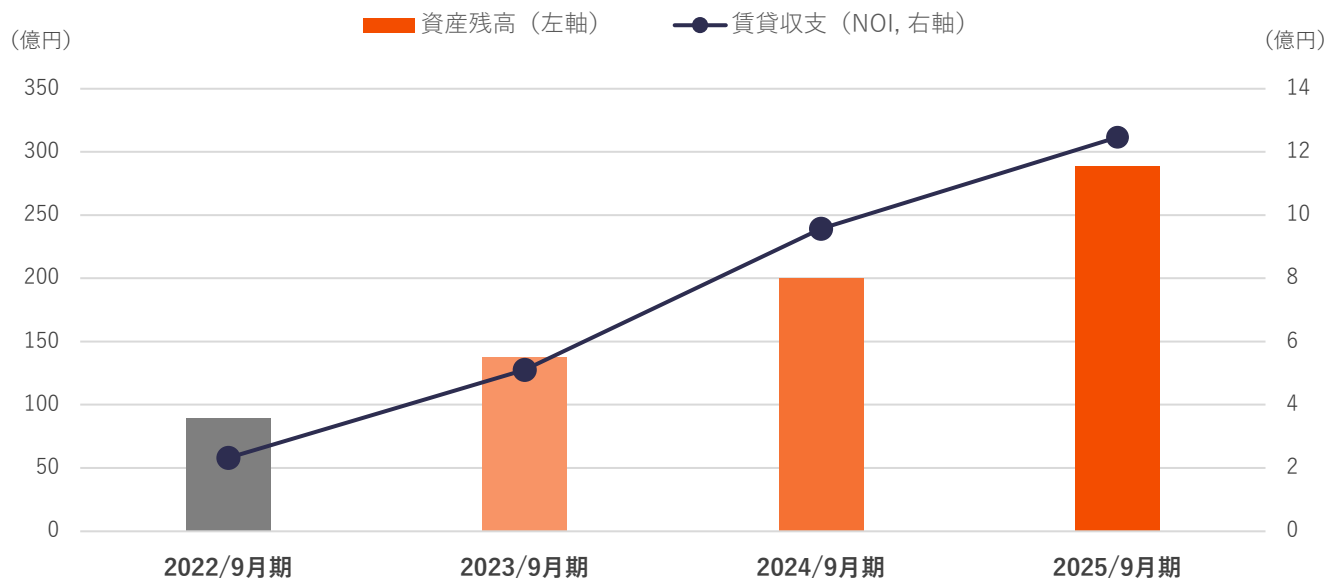
健常者・非健常者に関わらず、誰もが豊かに暮らし、いきいきと活動できる社会を目指す理念であり、バリアフリーやユニバーサルデザインを包括する考え。



7. 重点施策：自己保有資産の積み上げ

ストック型収益の基盤となる不動産に、年あたり100億円前後の投資を継続していく。
自社開発物件についても条件次第では自己保有資産のポートフォリオに組み入れることを検討する。
不動産賃貸事業からの利益で販管費を一定程度賄うべく、自己保有資産残高を2025年9月期を目途に300億円程度まで積み上げる。

自己保有資産



7. 重点施策：アセットタイプの拡充

第一弾として物流施設開発に参入

小売業等のEC化の急速な普及により宅配需要が爆発的に増加し、特に生活居住空間に近いエリアにおける「ラストワンマイル」の物流網強化が物流事業各社にとって喫緊の課題。

また、1970年代に建てられた多くの倉庫が老朽化し、建て替えの需要も強い。

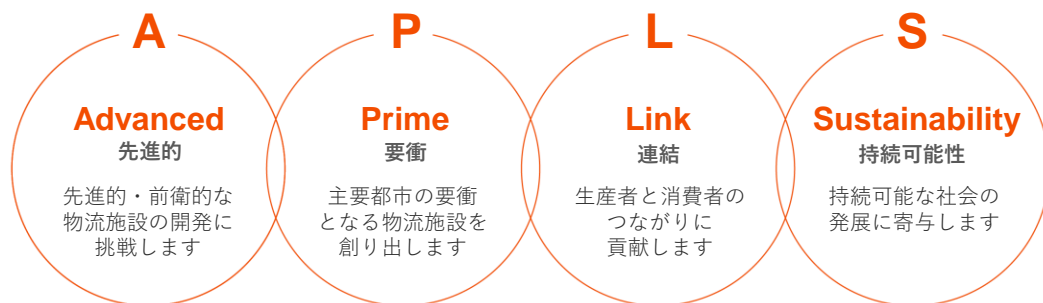
ものづくりを大切にする当社は、テナントのニーズを重要視し、東京・大阪・名古屋・福岡・仙台などの大都市圏における「ラストワンマイル」の一端を担う物流施設の開発を展開する予定。

現在、加須（埼玉県）、仙台扇町（宮城県）、小郡（福岡県）の3物件を開発中。



[アスコット プライム ロジスティクス]

アスコットの物流施設「Apls」は、さまざまな社会問題に対して物流という観点から貢献し、生産者、労働者、消費者にとっての「要衝（Prime）」となる物流施設の開発を目指しています。



名称	アスコット・プライム・ロジスティクス加須
所在地	埼玉県加須市土手
竣工	2023年夏(予定)
延床面積	8,782.98m ² (2,656.85坪)
構造/規模	S造 / 地上3階

7. 重点施策：資金調達手法の多様化

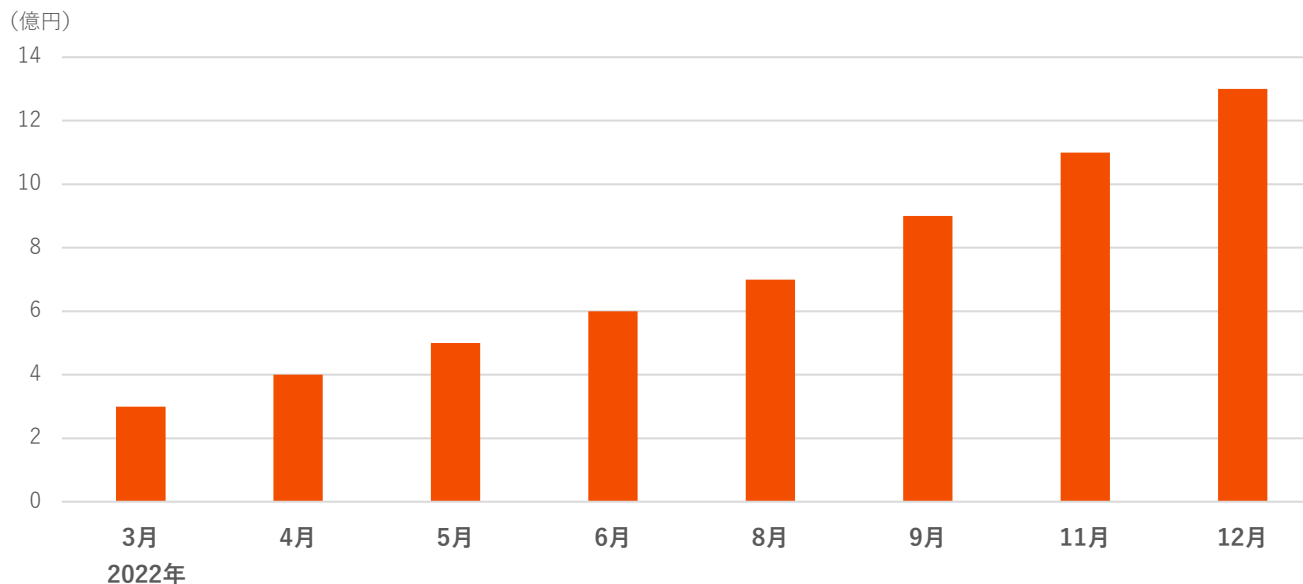
2022年3月より貸付型クラウドファンディングのFundsを通じて資金調達を開始。

これまでに合計8本のファンド（Fundsが募集する匿名組合）、総額13億円の募集を完了しており、のべ5,000人を超える個人投資家から出資を受けている。

調達した資金は、従来銀行借入が難しかった建築資金等の運転資金に充当し、当社の資本効率改善に貢献している。

また、SPCにてノンリコースローンを調達するアセットファイナンス・スキームも導入するなど、資金調達手法の多様化に注力している。

Funds募集総額推移（累計）



7. 重点施策：ファンドAUM残高の積み上げ

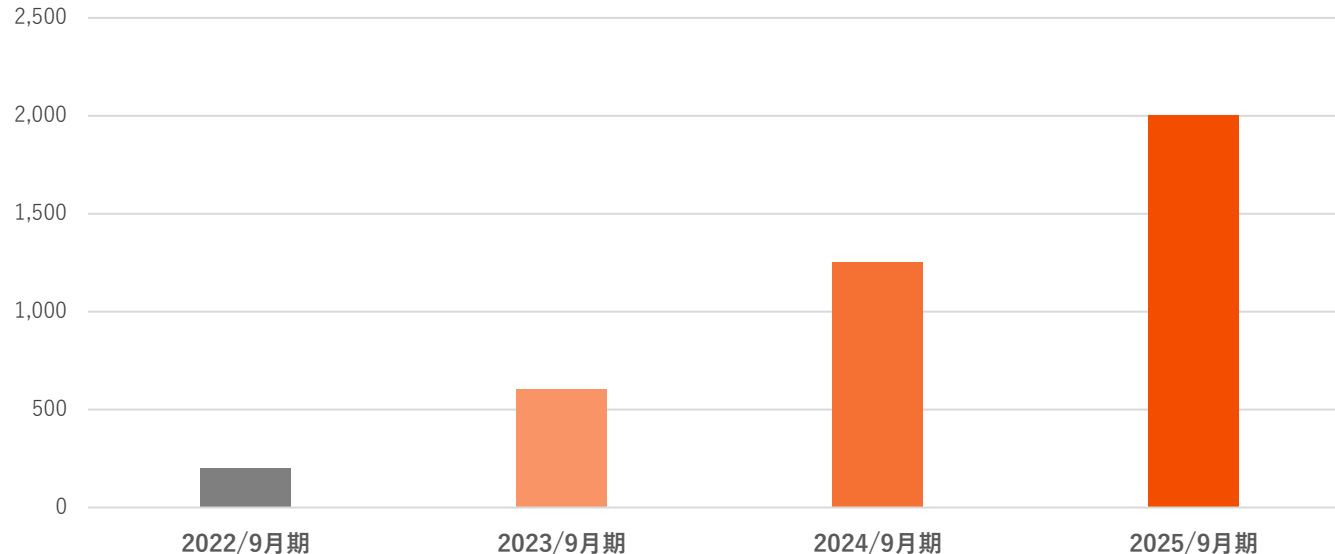
海外投資家とのジョイントベンチャー（JV）により私募ファンドを組成し、ファンドマネジメント事業に参入。2022年9月末時点のAUM*残高は203億円（運営ファンド数4本）。

今後は当社の企画開発力を活かして物件の供給を強化し、国内外の機関投資家からの資金調達により、オープンエンドファンド（OEF）または私募REITの組成を目指す。

2025年9月期を目途に2,000億円程度のAUM残高を積み上げる。

ファンドAUM*残高

(億円)



7. 重点施策：国際事業（B2B）の展開

日本の投資環境の優位性がグローバル投資家から高い関心を集めている中、新たな成長戦略の重要な柱の一つとして、2021年に国際事業本部を創設。

親会社である中国平安保険グループとの連携を含めて、以下の取り組みを計画している。

第1フェーズ

既に取り組みを開始しているB2Cビジネスの推進

- アジア圏の富裕層向けにバリューアップ後の高級区分マンションや収益物件を販売
- 訪日客のリゾート需要や医療ツーリズムをターゲットとして、リゾート関連の不動産開発やヘルスケア&メディカル分野の不動産事業に進出



第2フェーズ

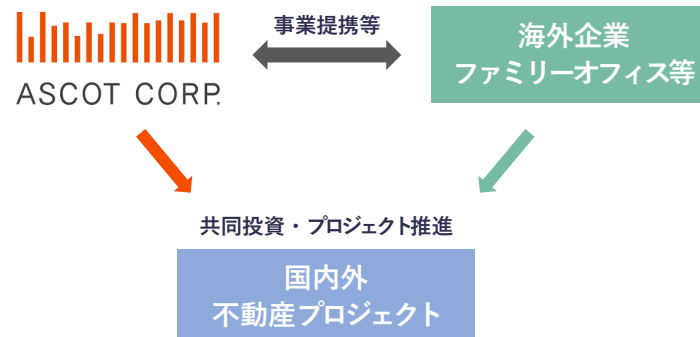
第1フェーズで構築する顧客基盤をベースにB2Bビジネスを展開

【Out-In】

アジア圏のファミリーオフィスやファンドと提携し、国内で大規模開発事業やファンドマネジメント事業を展開

【In-Out】

海外パートナーと提携し、成長著しいアジア圏の不動産市場へ進出



7. 重点施策：不動産金融事業の展開

オンライン取引市場の拡大に伴い、クラウドファンディング等を通じた個人投資家向けの投融資商品が急速に普及しつつある。

当社はオンライン・プラットフォームを通じた個人投資家からの資金調達力を一層強化し、不動産会社等の法人顧客向け不動産金融事業を新たに立ち上げることを計画している。

当該事業は不動産担保融資と不動産小口化・証券化を柱とし、不動産価値を適切に評価することで、顧客の資金ニーズに最適なソリューションを提供することを目指す。



8. DXの推進

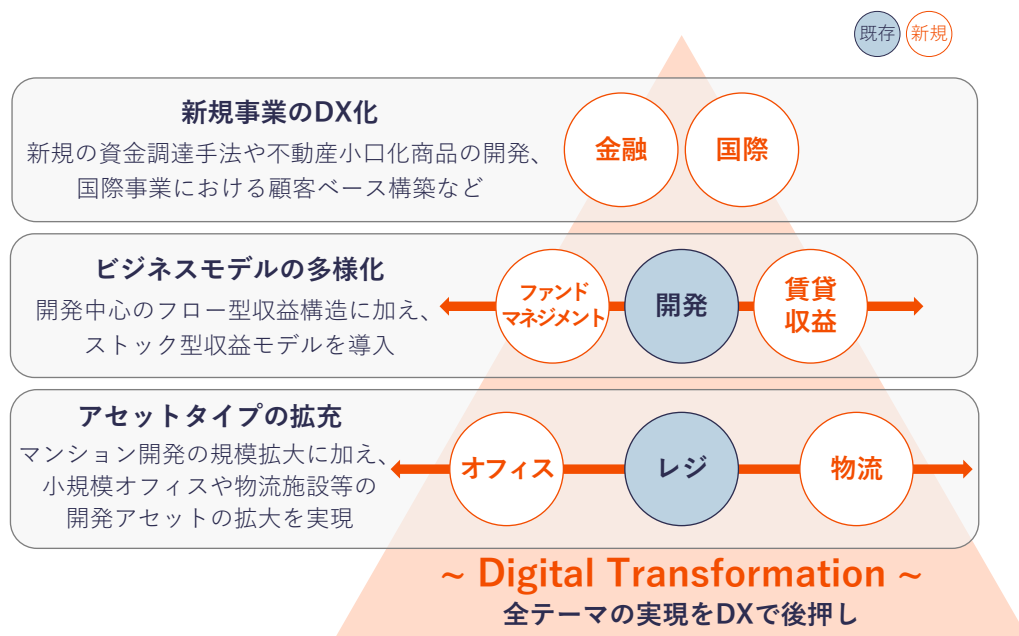
社内のDX化、ビジネスのDX化に向けて始動

「アスコット×DX」戦略を策定し、2022年7月1日付で経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得。



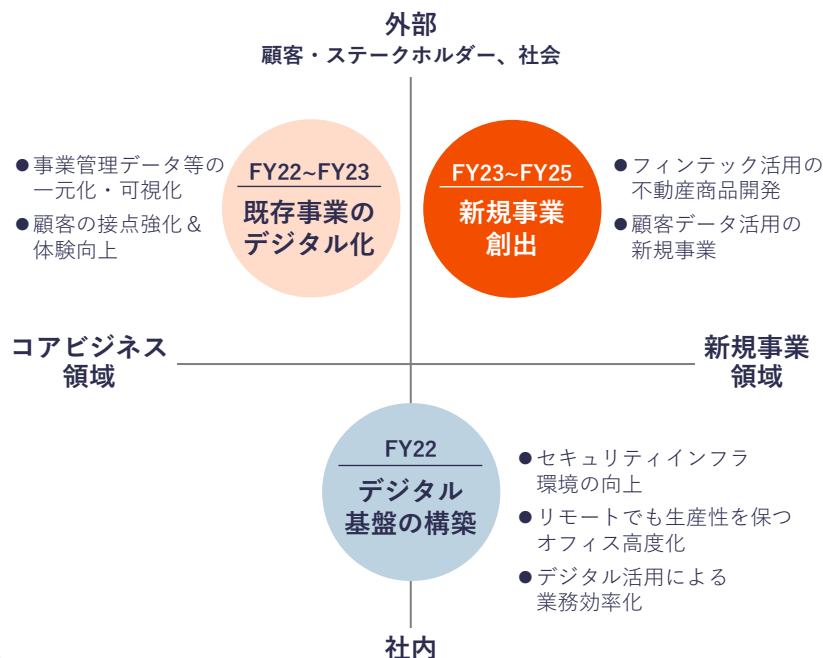
アスコットの発展をDXで支える

今後DXも活用し、アセットタイプを拡げるほか、ビジネスモデルの多様化や新規事業のDX化に取り組む予定。



DX戦略ロードマップ

強固なデジタル基盤を構築し、そのうえで既存事業のデジタル化や新規事業の創出を通して、当社のビジネスモデル変革を推進。



9. ESGの取り組み

持続可能な世界を目指して、「人・社会・環境」の調和の実現に取り組みます

E 環境保全

サステナブルな開発物件の拡大

- ZEH-MやDBJ Green Building認証等の対応物件の計画的な開発
- 間伐材やサンプルタイルをアップサイクルし、建築材に活用
- LED照明や節水型トイレ・水栓の積極的な活用

サステナビリティ重視の取引先拡大

- 当社のサステナビリティ方針に賛同いただける取引先との連携強化
- 取引先へのサステナビリティ啓蒙活動促進

グリーンファイナンスの検討・導入

- SLL・グリーンローン、小口化等の検討・導入

S 多様性配慮

継続的な高品質物件の提供

- グッドデザイン賞の継続的な受賞
- ノーマライゼーション住戸開発を通じた健常者・非健常者の共生社会実現に貢献

地域・社会への貢献

- 開発を通じた周辺環境や地域社会への貢献
- エンドユーザーの多様性への配慮

人材の活用・職場環境の向上

- 人事評価、報酬制度の見直し
- 女性活躍推進、ダイバーシティ促進
- 在宅勤務の制度化等、働きやすい職場環境の確立

G 透明性確保

内部統制強化

- 取締役会の機能強化
- コンプライアンス、リスク、情報セキュリティの管理体制構築（委員会設置、規程見直し、運用定着）
- サステナビリティ経営に向けた体制構築

HP等での開示情報充実

- 非財務情報の開示充実（サステナビリティページの新規作成等）
- 英語（+中国語）での開示拡大

DX推進による経営管理の透明性確保

- 社内データの一元管理・可視化促進
- 業務効率化によるコスト削減

10. 株主還元

配当政策

当社は株主様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、内部留保とのバランスを図りながら安定的な配当水準を維持することを基本方針としております。

利益配分につきましては、企業体質を強化し、安定的な成長を可能にする内部留保の充実を図りながら、業績や資金需要見通し等を総合的に勘案し行う方針であります。

直近実績

	今期決定額*	前期実績
基準日	2022年9月30日	2021年9月30日
1株当たり配当金	3円00銭	3円00銭
配当金総額	389百万円	389百万円
効力発生日	2022年12月27日	2021年12月28日
配当原資	利益剰余金	利益剰余金

* 2022年12月26日開催予定の第24回定時株主総会に付議予定

Appendix



株式会社アスコット (英文: Ascot Corp.)

所在地 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-1-30 Daiwa青山ビル5F
TEL: 03-6721-0248 (代表) FAX: 03-6721-0247

設立 1999年4月
資本金 10,867百万円
役員 代表取締役会長 羅 怡文
代表取締役社長 中林 毅
取締役 豊泉 謙太郎
取締役 田村 達裕
取締役 クイ カイピン
取締役(社外) 高村 正人
取締役(社外) 有泉 俊介
常勤監査役(社外) 柳田 聡
監査役(社外) 吉田 修平
監査役(社外) 長尾 謙太

事業内容

- 不動産開発事業 (賃貸マンション、分譲マンション、オフィス、ロジスティクス)
- 不動産ファンド事業 (ファンドマネジメント、アセットマネジメント)
- 不動産ソリューション事業 (バリューアップ、不動産コンサルティング、不動産仲介等)
- その他事業

免許・登録等

- 宅地建物取引業 東京都知事 (5) 第77547号
- 一級建築士事務所 東京都知事 第58896号
- 一般不動産投資顧問業 国土交通大臣 第1062号
- 第二種金融商品取引業/投資助言代理業 関東財務局長 (金商) 第1190号
- 貸金業 東京都知事 (1) 第31931号
- プライバシーマーク 第10700010 (09) 号 JISQ15001:2006準拠

[上場取引所] 東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード: 3264)

[主要取引銀行]

三井住友銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行
関西みらい銀行 商工組合中央金庫 西武信用金庫
東日本銀行 きらぼし銀行 りそな銀行 (順不同)

[主要子会社]

株式会社アスコット・アセット・コンサルティング
株式会社シフトライフ

[主要株主]

中国平安保険グループ
森燁有限公司 (Sun Ye Company Limited)
平安 (PING AN) ジャパン・インベストメント 1号投資事業有限責任組合
SBIホールディングス株式会社



賃貸マンション開発

RENTAL APARTMENT DEVELOPMENT

賃貸マンションに新たな価値をプラスすべく、住もう人が「暮らしを楽しみ、発見できる」きっかけとなるようなアイデアを詰め込んだ都市型レジデンス。街とのつながりを大切にしつつ、住まいに彩りを添える“高揚感のある暮らし”を演出する住空間を提案します。

事業規模による3つのシリーズ展開

暮らしが広がる コンセプトレジデンス

OZIO

[オジオ]
ゆったり、気ままに (伊語)

中高層／ファミリー

価格帯 | 10億円以上

ASTILE

[アスティール]
アスコット (頭文字)
+スタイル (伊語)

小～中規模／1～2名

価格帯 | 5～10億円

FARE

[ファーレ]
する、つくる (伊語)

小規模／单身

価格帯 | 5億円以下

ASTILE studio

[アスティールスタジオ]
多彩な室内アクティビティを
可能にし、豊かな“イエ時間”
を実現できる「防音室付き
マンション」

TIPETTO

[ティベット]
動物固有の生態・特性に基づき
空間を再構成。住まい手とペッ
ト双方にとって“真に”ストレス
フリーな住環境を目指した
「ペット共生型マンション」

Normalization Room

[ノーマライゼーション・ルーム]
利用者多様性に対応し、バリア
フリーの考え方を一歩進めた
「ノーマライゼーション」の視
点に基づく空間環境デザインに
よって、健常者にも非健常者に
も等しく住み心地の良い住空間
を提案。

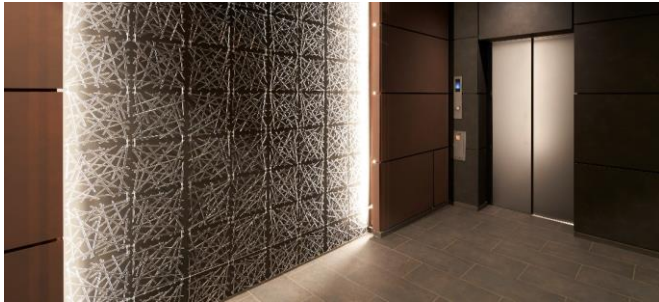
POINT

- 01 緻密で自由な発想のプランをベースに、細やかな工夫でプラスアルファの魅力を付加
- 02 機能性+デザイン=空間の「質」にこだわり、住むことにステータスを感じられるレジデンス
- 03 立地を厳選した資産性の高い物件
- 04 エリア相場のアップサイド賃料を長期安定確保でき、維持管理コストを抑える企画設計で収益性の高い物件

賃貸マンション開発

RENTAL APARTMENT DEVELOPMENT

OZIO



名称 OZIO NOOK
所在地 東京都江東区亀戸
竣工 2019年9月
延床面積 1,589.54m² (480.83坪)
戸数 46戸



OZIO桜新町
東京都世田谷区新町
2021年10月
1801.20m² (544.86坪)
47戸

ASTILE

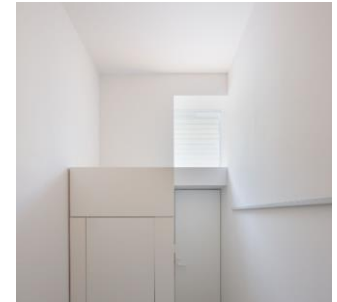


ASTILE 三軒茶屋 II
東京都世田谷区太子堂
2020年7月
473.13m² (143.12坪)
住宅14戸、店舗2区画



ASTILE 原宿
東京都渋谷区千駄ヶ谷
2022年3月
773.99m² (234.13坪)
14戸、店舗2区画

FARE

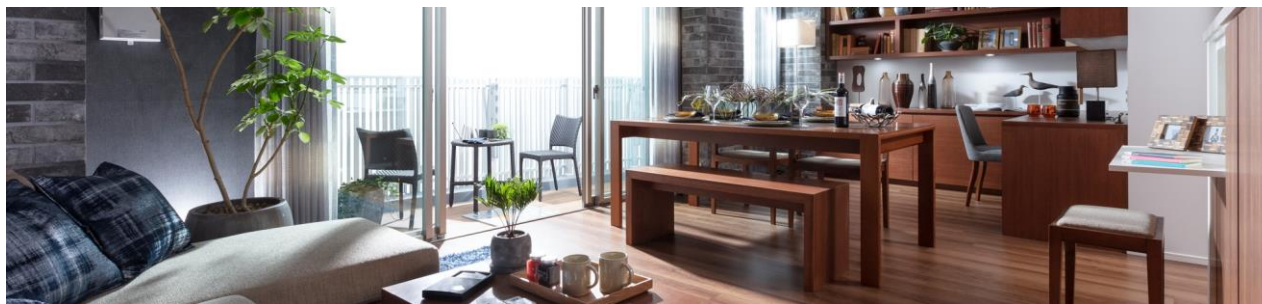


FARE 目白
東京都豊島区雑司が谷
2021年11月
473.59m² (143.26坪)
14戸 (ノーマライゼーション
住戸1戸)

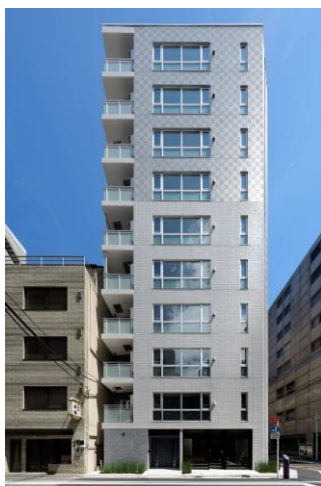
分譲マンション開発

CONDOMINIUM DEVELOPMENT

ASCOT PARK



名称 ASCOT PARK 森下
所在地 東京都墨田区千歳
竣工 2017年9月
延床面積 2,663.15m² (1,361.31坪)
戸数 32戸



Blanton 日本橋大伝馬町
東京都中央区日本橋大伝馬町
2018年3月
1,339.00m² (405.04坪)
28戸



ASCOT PARK 五反野 Vessel
東京都足立区足立
2020年10月
3,397.86m² (1027.85坪)
46戸

KOHAKU



KOHAKU 新中野
東京都中野区中央
2020年3月
1,195.15m² (361.53坪)
24戸

オフィス・商業施設開発

OFFICE & COMMERCIAL FACILITY DEVELOPMENT

「暮らすように働く、住みたくなるオフィス」をコンセプトに、街とつながる外観、街の特性を取り込んだ仕様の中小規模のオフィスを開発しています。

人との出会いにスパイスをもたらす ワークプレイス

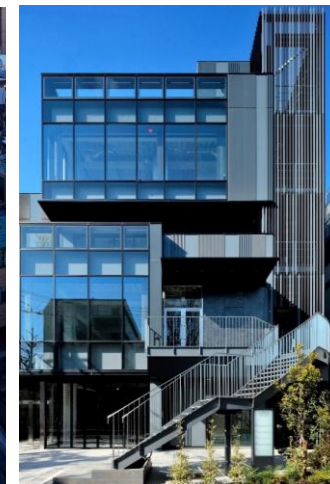
AUSPICE

[オースピス]

Auspice : 吉兆・きざし(英語)

Au = 逢う + Spice = スパイス・刺激

| 小～中規模 / 中小企業・個人事業主



POINT

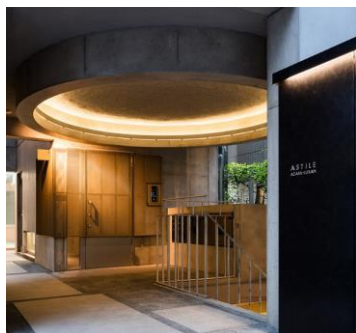
- 01 温もりやアートを感じさせる、「居場所」としてのワークプレイス
- 02 スモールオフィスならではの密度が高く充実した共用部
- 03 中小優良オフィスとしての投資要望に応える好立地とスペック（設備・環境性能）

名称	AUSPICE 青山	名称	AUSPICE 表参道
所在地	東京都港区北青山	所在地	東京都港区南青山
竣工	2020年9月	竣工	2021年1月
延床面積	576.32m ² (174.33坪)	延床面積	861.13m ² (260.49坪)
構造/規模	RC造 地上4階地下1階	構造/規模	S造 地上5階

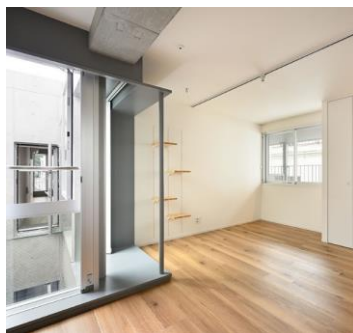
グッドデザイン賞 - 主な受賞物件 -



GOOD DESIGN AWARD 2022
OZIO 桜新町
賃貸マンション



GOOD DESIGN AWARD 2022
ASTILE 麻布十番
賃貸マンション



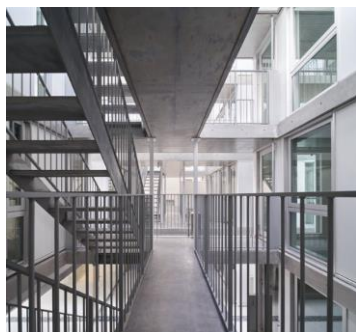
GOOD DESIGN AWARD 2021
TIPETTO 目黒不動前
賃貸マンション



GOOD DESIGN AWARD 2021
ASTILE 新宿 I・II
賃貸マンション



GOOD DESIGN AWARD 2021
ASTILE 三軒茶屋 I
賃貸マンション



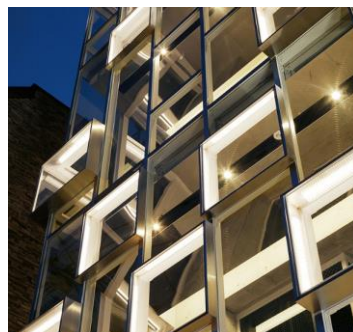
GOOD DESIGN AWARD 2020
FARE 経堂 I・II
賃貸マンション



GOOD DESIGN AWARD 2019
FAREウエハラノイエ EAST・WEST
賃貸マンション



GOOD DESIGN AWARD 2014
ASCOT PARK 日本橋人形町 ATELIER
分譲マンション



GOOD DESIGN AWARD 2010
DAIMYO BEAUTY COMPLEX
商業ビル



GOOD DESIGN AWARD 2007 金賞
STYIM
グッドデザイン賞史上初
マンションとしての金賞を受賞

2022

← 通算16物件受賞 (2022年10月現在)

2007

バリューアップ

PROPERTY VALUE-ADDING

中古物件を現代のニーズに即して“再生”させる一棟ビルリノベーション。建物の表層のみではなく、フルリノベーションでもない。適切なコスト配分で建物のポテンシャルを最大限に引き出し「建物の本質＝核」となる部分を再生。効果的に収益性向上を実現します。

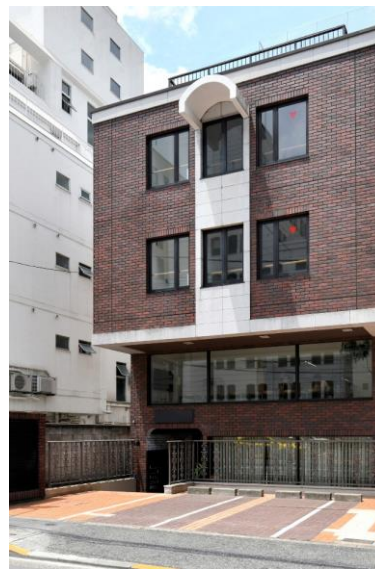
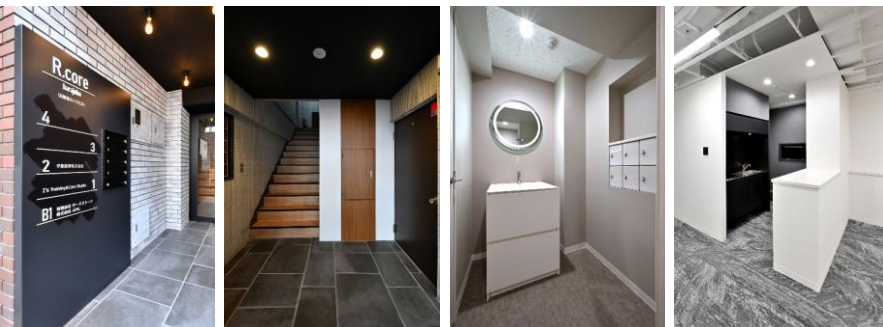
芯となる価値を突き詰め“人々に永く愛される不動産”へ

R.core

[ルコア]

Re(再生) + Core(核心) = R.core

包括的な改修のみならず、適切な用途転換や、初期投資の負担を軽減するセットアップオフィスもご提案しています。



名称 R.core 原宿
所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷
竣工 2019年7月
延床面積 632.93m² (191.46 坪)
構造/規模 RC造 / 地下1階 地上4階

名称 R.core 浅草橋
所在地 東京都台東区浅草橋
竣工 2020年12月
延床面積 1,007.51m² (304.77坪)
構造/規模 RC造 / 地上7階

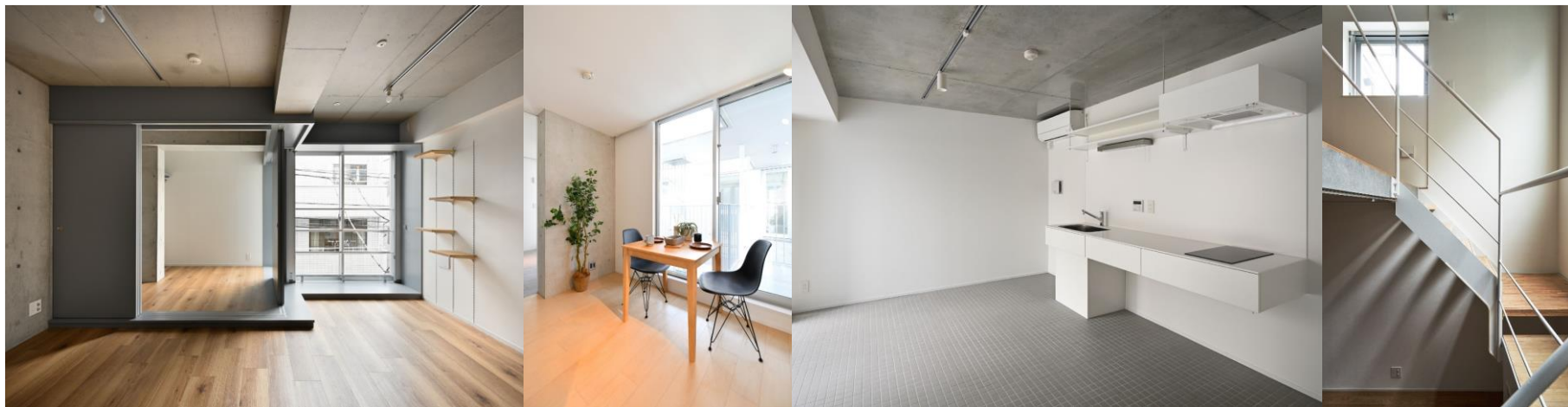
プロパティマネジメント

PROPERTY MANAGEMENT

株式会社アスコット・アセット・コンサルティングは株式会社アスコットが100%出資する賃貸住宅管理会社です。
賃貸住宅の長期安定経営をお手伝いする、安心・安全・快適な暮らしのトータルサポーターです。



アスコット・アセット・コンサルティング



株式会社アスコット・アセット・コンサルティング

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-1-30 Daiwa青山ビル5F
TEL: 03-6721-0148 FAX: 03-6721-0147
<https://ascotac.co.jp/>

代表取締役 丸山 征二

登録 宅地建物取引業免許 東京都知事免許 (5) 81353号
賃貸住宅管理業登録 国土交通大臣 (1) 第005973号

株式会社シフトライフ

地方都市への投資エリア拡大を目指して

株式会社シフトライフは株式会社アスコットが100%出資する福岡の分譲マンションデベロッパーです。

「良いものを、より安く」をモットーに「良質な住戸をより手頃な価格で提供すること」を基本理念にしています。



株式会社シフトライフ

〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目2-20 天神幸ビル3F

TEL: 092-791-6100 FAX: 092-791-6020

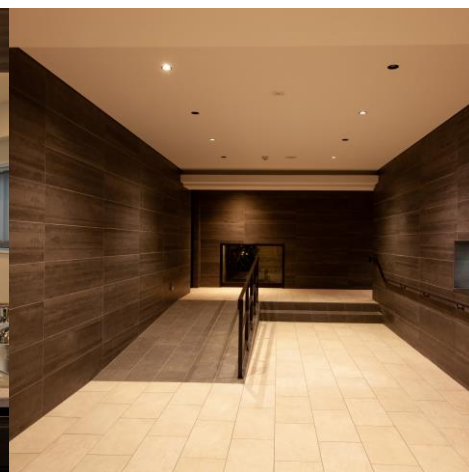
<https://shiftlife-corp.com/>

代表取締役 樋口 由紀夫

登録 宅地建物取引業／福岡県知事(4) 第15690号

一級建築士設計事務所／福岡県知事 第1-12340号

建設業／福岡県知事(般-4) 第101777号



本資料お取り扱い上のご注意

■本資料及び本資料に関する説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社が入手している情報に基づき行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいています。

■また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いています。

■将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本資料に関する説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アスコット

U R L <https://www.ascotcorp.co.jp/>